

編集委員会委員

木野 邦器（委員長）・栗原 達夫（副委員長）

岡澤 敦司・小川亜希子・金山 直樹・河島 洋・川瀬 雅也・木下 浩・駒 大輔

杉坂 恵子・立花 亮・堤 浩子・永瀬 裕康・福田伊津子・矢田美恵子・片山千代子（事務局）



◇担当委員編集後記◇

■まさかこんなに長く続けられるとは思いませんでした。ご執筆頂いた先生方、同じ担当の委員の方（特に大多数の原稿を集めて下さった Y さん）、事務の K さんに厚く御礼申し上げます。連載を通して、キャリアパスは無限であり、だからこそ明確な意志やビジョンが必要なことを再認識させていただきました。若い研究者の方々が自分の将来を想像する時に、この冊子が何かのヒントとなることを願ってやみません。（A. O.）

■ユニークなプロジェクトや試みの陰には、寝食を惜しまぬ尊き先人の姿と圧倒的な強い信念がある。バイオ人材育成に関してもそれは同様で、後進を育て次代に託し、自らをもなお高めようとされる先輩方の熱い思いに触れ、より多くの若い方にその真髄を伝えたい！との使命感に突き動かされた1年半であった。いくつもの出会いや葛藤、迷いと決断の時があって今がある、という著者それぞれのドラマ、心情の吐露には、骨太のドラマを観ているような臨場感を何度も味わった。珠玉の原稿を世界で最初に読む幸せを感じ、しみじみとした読後感、たっぷりとした充足感を持って本シリーズを終わらせることができたことに心から感謝したい。（M. Y.）

■この企画を進めていて何よりパワーを頂いたのは、私自身でした。これからキャリアを構築していく人たちの希望に溢れた決意、今まさにノリに乗って活躍されている研究者・開発者たちの飽くことなき探究心と仕事に対する誇りと熱意、そして、道をひた走ってきた先駆者たちの慈愛に満ちた励ましに、何度も何度も目頭が熱くなりました。普段の生活では聞くことができない話の数々はすべてが応援歌であり、明日への希望を強く抱かせてくれる最高のプレゼントでした。これからも私の心の羅針盤になる、そんな予感がします。（A. O.）

〈表紙写真提供：笠井尚哉〉

「生物工学会誌」

キャリアパス 生物工学研究者の進む道

2009年9月10日発行

編集 生物工学会誌編集委員会

発行所 社団法人 日本生物工学会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学部内

TEL. 06-6876-2731 FAX. 06-6879-2034 E-mail: info@sbj.or.jp